

**佐賀市**  
**デジタル・トランスフォーメーション**  
**(DX)**  
**推進方針**  
**【概要版】**

# 佐賀市DX推進方針の概要

## 序章 はじめに

- 本市では「第2次佐賀市総合計画」(以下、総合計画)のICT関連事業を推進するため「佐賀市ICT推進指針」(以下、推進指針)を定め、事務改善及び市民サービスの向上に努め、一定の成果をあげてきた。
- これまでの取組をより一層加速させるため、佐賀市ICT推進指針(以下、ICT推進指針)を全面的に見直し、新たに佐賀市DX推進方針(以下、DX推進方針)を策定する。

### 【近年のデジタル化の主な取組】

区分	主な取組
市民サービスの向上	マイナンバーカードの普及、住民票の写し等のコンビニ交付サービス、電子申請サービス、諸手続きにおける押印の見直し、交付窓口へのキャッシュレス決済導入、介護予防DX(データを活用した介護予防推進)
経済・産業のデジタル化	事業所のテレワーク導入支援、公衆無線LANスポットの整備、ドローンを用いたスマート農業
庁内のデジタル化	AIを活用したチャットボット・議事録作成システムの導入、AI-OCR・RPAによる事務の自動化、AIによる保育所入所選考システムの導入、庁内テレワークの導入、Web会議環境の整備、水害対策(スマート標尺での浸水状況把握)

# 佐賀市DX推進方針の概要

---

## 第1章 背景

### (1)社会潮流の変化

- 人口構造の変化に伴い顕在化する諸問題
- 第4次産業革命の進展と就業構造の転換
- 厳しさを増す行政経営と自治体のあり方の議論の高まり
- デジタルがもたらす社会・ライフスタイルの急激な変化
- 新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済への影響

### (2)国の動向

- 2020年12月 デジタル・ガバメント実行計画の改定(社会全体のデジタル化を推進)
- 2021年 5月 デジタル改革関連6法を成立(先端技術を活用したデジタル社会の形成を推進)
- 2021年 9月 デジタル庁を創設(デジタル社会の形成に関する司令塔)
- 2021年12月 デジタル社会の実現に向けた重点計画を策定(デジタル・ガバメント実行計画を統合)

### (3)市の現状

- 2019年5月の市民意向調査において、市民の約7割がインターネットを利用しており、約4割が情報通信機器の普及に伴い、行政手続きを簡単にすること、子どもや高齢者、障がい者の方でも利用できるようにすることを求めている。
- 推進指針により、ICT推進の基本的な方向性を定め、総合計画に掲げる将来像を実現すべく、個別の取組を推進してきた。
- 2021年4月、行政のデジタル化の企画及び推進並びに各施策におけるAI、IoT技術の活用に関する先導的役割を担う部署として、「デジタル推進課」を創設。その後、「DX推進課」へ改組。

# 佐賀市DX推進方針の概要

---

## 第2章 目的

### 1 佐賀市におけるDXとは

市民の生活や働き方をよりよいものへと変革するべく、ビッグデータやデジタル技術を効果的に活用し、地域課題の解決や社会経済活動の成長を促し、既存の価値観や枠組みからの変化を受入れ・実行する風土を浸透させることで、

- ❖ **暮らしやすさの向上と地域経済の変革**
- ❖ **多様なニーズに対応した市役所サービスの実現**
- ❖ **常に新たな情報技術を活用する行政への転換**

を目指す。

# 佐賀市DX推進方針の概要

## 第2章 目的

### 2 佐賀市が描く未来の姿

“暮らしやすさ”“過ごしやすさ”を実感できる佐賀市  
～より便利、より簡単、より早く～

本市の強みである“暮らしやすさ”を生かして多様な人材を呼び込むとともに、その人材を生かして産業振興を図り、経済の活性化やビジネスモデルの変革につなげる。その強い経済を背景にさらなる“暮らしやすさ”や佐賀市を訪れるかたの“過ごしやすさ”につなげる好循環を目指す。

“暮らしやすさ”“過ごしやすさ”につなげるためのDX推進を未来像として掲げる。

- ❖ 「より便利」 = 暮らし・経済のデジタル化
- ❖ 「より簡単」 = 電子市役所の実現
- ❖ 「より早く」 = スマート行政の推進

# 佐賀市DX推進方針の概要

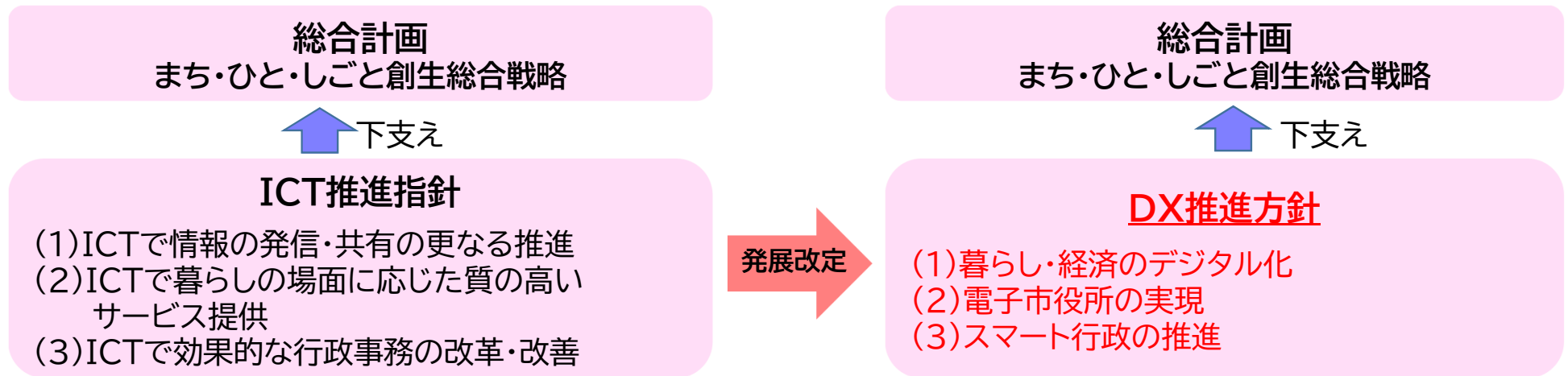
## 第3章 方針の位置付け、対象期間

### 1 位置付け

市政運営の最も基本的な考え方である総合計画、また、「人口減少の克服」及び「地域経済の活性化」を目指した施策等をまとめた「第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、まち・ひと・しごと総合戦略)を実現するために、本市が行うDX関連施策のあり方を示す最上位の基本方針。

### 2 対象期間

2021年度を開始年度とし、「総合計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の終期である2024年度まで。



# 佐賀市DX推進方針の概要

## 第4章 目指すべき方向性

### 1 市としての方向性

#### 暮らし・経済のデジタル化

- ◆ コロナでもつながる地域
- ◆ デジタルで分かりやすく便利なバスセンター
- ◆ 予約や決済は簡単・迅速。
- ◆ 浸水状況の見える化
- ◆ パーソナライズされた健康管理  
…など

#### 電子市役所の実現

- ◆ 行かなくても手続きができる市役所
- ◆ いつでも受付可能な市役所
- ◆ 簡単に手続きができる市役所
- ◆ オープンデータ・情報発信  
…など

#### スマート行政の推進

- ◆ 各種行政手続きを一括・同時処理
- ◆ テレワークで自宅や出張先でも事務が可能
- ◆ システム・事務を全国共通仕様に標準化
- ◆ 単純作業はデジタル化。市民と話す市役所に(行政改革、市民サービス向上など)
- ◆ ビッグデータ活用による効果的な施策の実施  
…など

# 佐賀市DX推進方針の概要

## 第4章 目指すべき方向性

### 2 総務省が定めた自治体DX推進計画における取組事項への対応

#### 重点取組事項への対応

- (1)自治体の情報システムを全国共通仕様に標準化・共通化
- (2)マイナンバーカードの普及促進
- (3)行政手続のオンライン化
- (4) AI・RPAの更なる利用推進
- (5)テレワークの推進
- (6)セキュリティ対策の徹底

#### 自治体DXの取組とあわせて取り組むべき事項への対応

- (1)地域社会のデジタル化(企業のDX支援、地域におけるデジタル人材の育成・確保等)
- (2)デジタルデバイド対策(デジタル活用のスキル等が十分でない高齢者等へ配慮)
- (3)スマートシティ構想の実現(「スマート・ローカル！SAGACITY」の実現)

#### その他の取組事項への対応

- (1)BPR(事務内容、組織の構造などを根本的に見直し、再設計すること)の取組の徹底(書面・押印・対面の見直し)
- (2)オープンデータの推進
- (3)官民データ活用推進計画策定の推進



# 佐賀市DX推進方針の概要

## 第5章 推進体制

### 1 佐賀市DX推進本部

設置目的: 推進方針の審議・決定、分野横断的な連絡調整、事業の進行管理・評価 等

本部長: 市長

副本部長: 副市長(2名)

本部員: 教育長、各部(室)長、政策審議監 等

外部人材

ワーキンググループ(事業主管課)

- ・事業化に向けた検討
- ・事務の見直し、運用設計 ・情報システム構築

DX推進事務局  
(DX推進課)

情報提供  
教育

各部署  
DX推進員

情報セキュリティ  
事務局  
(デジタル推進課)

システム導入審査  
事務局  
(デジタル推進課)